

単元名 音のスケッチ(1)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 旋律と和音の関わり、旋律のまとまりについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) I IV Vの和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05070106_001

【教材名】和音に合わせてせんりつをつくろう

(P. 26～P. 27)

【準備等】範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 I IV V I の和音の響きやその移り変わりを生かして、全体のまとまりを意識した音楽をつくる。</p> <p>★和音に合わせてせんりつをつくろう</p> <p>○ I IV V I の和音の響きや和音の移り変わり、旋律をつくる時のルールを確かめる。</p> <p>○ どのような旋律にしたいのか考えながら、4小節程度の旋律をつくる。</p> <p>○ 全体のまとまりを意識して、8小節程度の旋律をつくる</p>	<p>・ P. 26のルールを確認させる。</p> <p>・ 旋律づくりを行う前に、I IV V I の和音の響きやその移り変わりを丁寧に聴く場面を設けるとよい。</p> <p>【共通事項】和音の響き</p> <p>・ 旋律づくりが難しい児童には、音楽づくりで使う音の数を「ソラシド」の4音に絞らせてもよい。</p> <p>【共通事項】旋律</p> <p>【評】I IV Vの和音に合わせて旋律をつくる活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】旋律と和音の関わり、旋律のまとまりについて、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて音楽をつくる活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>・ 反復 (a, a') や変化 (a, b) などの音楽の仕組みを用いて考えさせる。</p> <p>・ 「茶色の小びん」の旋律の構成を参考にさせてもよい。</p> <p>【共通事項】反復 変化</p> <p>【評】旋律や和音の響きを考え、全体のまとまりを意識した音楽づくりの活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】音楽の仕組みを用いて音楽をつくる活動を通して「技能」を評価する。</p>

【 備 考 】